

2024 年度海外短期留学（チュラロンコン大学への協定派遣）

長薬同窓会からの支援（長崎大学薬学部創立 125 周年記念事業寄付金）を受けて 2024 年 9 月 23 日～29 日にかけて、医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻の博士前期課程 1 年生 1 名、2 年生 2 名が、タイ王国のチュラロンコン大学薬学部にて海外短期留学をしました。チュラロンコン大学は The Times Higher Education による QS 世界大学ランキング 2025 においてタイ国内第 1 位、アジアで第 57 位、世界第 229 位にランクインしており 19 の学部からなる総合大学です。

本短期留学では、天然薬用資源の豊富なタイの創薬研究を学び、現地の研究者と創薬に関する意見交換を行うことで、英語によるコミュニケーション能力、異文化に基づく研究・教育の多様性を理解する能力、自ら進んで討議に取り組む主体的な態度などを身に着けることにより、総合的で実践的な英語能力を養うこと、また、このプログラムを通じて、グローバルに活躍できる創薬研究者としての動機を強化することを目的とし、以下の研修内容を実施しました。

【研修内容】

・ Associate Dean of the Faculty of Pharmaceutical Sciences (Prof. Jittima) を表

敬訪問 (写真 1)

・ CU start-up company (Nabsolute, Baiya, EngineLife) の見学 (写真 2)

・ CU start-up company 活動体験 (化粧品クリーム作りの体験, Nabsolute; 植物へのウイルス導入の体験, Baiya) (写真 3 および 4)

・ Pharmaceutical Sciences 附属 Museum of Natural Medicines の見学 (写真 5)

・ Department of Botany 附属 Living Plant Museum, Chula Herbarium の見学 (写真 6)

・ Grand Palace, Wat Pho へ歴史遺産見学

参加学生は、チュラロンコン大学発のスタートアップ企業および付属する植物園や博物館の訪問を通じて、研究成果と創薬との関りを英語で学んだり、東洋医学で用いる植物等を目で見て学んだりすることができました。また、実験作業の体験も行うことができ、貴重な経験を積むとともに大変有意義な時間を過ごしてきました。これらの施設見学等を介してチュラロンコン大学の学生やスタッフの熱意を感じることで、自身の研究や将来の方向性について鑑みることができたと思います。薬学部では、今後も教育・研究のためにチュラロンコン大学薬学部との連携を強化していく予定です。



写真 1. Prof. Jittima 先生へ表敬訪問



写真 2. Nabsolute 社内にて



写真 3. Nabsolute での実習の様子



写真 4. Baiya での実習の様子

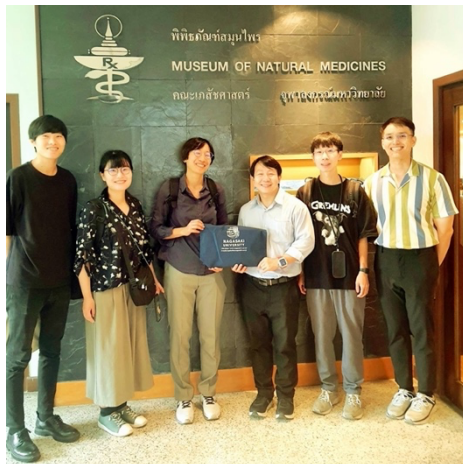


写真 5. Museum of Natural Medicines への訪問



写真 6. Chula Herbarium への訪問